

教師の発問	子どもの発言・反応
<p>○では、まず画面を見て下さい。いきますよ。</p> <p>【映像を流す。海の様子映像】</p> <p>○今日は豊かな自然環境を守り生かす小笠原村の何を勉強するんだっけ</p> <p>○海だよ。ノートを開いて書きます。</p>	<p>○海</p> <p>※児童は本時の問いをノートに記入。</p>
<p>問 小笠原村では、豊かな海の自然を生かし、守るためにどのようなことをしているのだろうか。</p>	
<p>○では今日の問い、皆さんで読みます。</p> <p>○はい。じゃあね、調べる前に、まず、予想ね。どんなことしてると思います。うん、こんなことしてそうだよ。</p> <p>○イルカやクジラを見られるイベントがありそうだよ。パンフレット見てるんだね、すごくいいね。他には。</p> <p>○なるほど今、●●さんが言ってくれたのも●●さんが言ってくれたことも海の自然を生かしたことですね。</p> <p>○何か守るためという話もこないだ出たんだけど。守るためにどんなことをしていると思う。そういうルールみたいなことかな。●●さん。</p> <p>○ダイビングで遊びながらも拾ったりしてそうってことね。みんなよくパンフレット見てるね。じゃあね、調べていこう。海でね、今日は、皆さんに3つの中から1個を選んでもらいます。まず一つ目がダイビング。ダイビングね。次がドルフィンスイム。ドリフィンて何？</p>	<p>○小笠原村では豊かな海の自然を生かし、守るためにどのようなことをしているのだろう。</p> <p>○前にパンフレットを見たときにチラッと見かけたんですけど、イルカとか鯨を見れるイベントがある。</p> <p>○前にパンフレットを見たときにちらっと見かけたんですけど、イルカとかクジラを見れるイベントをしているとパンフレットに書いてあった。</p> <p>○小笠原の海で漁をして、いろいろな魚を獲ってパンフレットに載っていたウミガメ料理とか料理して食べてもらってどんな魚がいるかをいろんな人に知ってもらおう。</p> <p>○何かパンフレットを見たんですけど、ダイビングしながらペットボトルみたいな環境に悪いものをとったりする。</p> <p>○イルカ。</p>

○そうイルカね、ドルフィンスイム。それからこれ何だかわかる。

○3つの中から一個選んで、それについて調べてもらいます。オッケー。じゃあそれぞれ資料を取りに来てください。ドルフィン、イルカ。ドルフィンスイミング。はい、おいで。はい、ウミガメ、おいで。

○選んだら、じゃあねノートに何々についてって書いて、ウミガメだったらウミガメって、自分の選んだやつ書いたね。そしたら先生が渡した資料を見て、自分が調べでわかったことをノートに箇条書きで書いていってください。

○インストラクターって教える人かな。

○資料に線を引いている人もいるね。そうだよ。みんなの資料だからね。自分で使っていていいんだよ。

○そろそろいいかな。ダイビングを選んだ人、発表してくれる。どうでしょう。

○●●さん、大きい声でね。

○船の上でルールを。●●さん、ダイビングを選んだ人、他にもある？

○●●さん他にありますか。どうぞ。目を覆うほど、目を覆うほどって何。

○そうだよ。目を覆うほどいるんだって。●●さん、他にもある。

○なるほど。インストラクターって聞いたことある？実際に急に海に潜ってって言われても潜れないじゃない。だから教えてくれる人のことだよ。

○ウミガメ。

○インストラクターって？

○船の上でルールを説明して守ってもらっている。

○足につけるフィンは地面や珊瑚などに当たらないようにしている。

○実際には見たことはないんですけど、目を覆うほどの魚の群れがいっぱいある。

○たくさん。いっぱいってこと。

○先生が教えてくれたんですけど、インストラクターっていうのは教える人で、丁寧に教えてくれ、体験ダイビングもできるよね。

○ドルフィンスイムいきましょう。ドルフィンスイムどうでしょう。はい●●さん。

○野生のイルカと泳いだことがある人いる？あっ、あるの？本当、どこで？

○ハワイで、そうなんだ。ハワイってさ、飛行機で何時間もかかるじゃない。小笠原は東京都だもんね。東京都の海で野生のイルカと泳げるんだね。

○他には。ドルフィンスイム。●●さん。

○そうか、必ず会える訳ではないんだって。ちなみに●●さんは会えたの。

○そうなんだ。へえ、すごいな。他にはドルフィンスイムある。どうですか。●●さん。

○ミナミハンドウイルカとハシナガイルカ。そうなんだ。●●さん。

○はい、人懐っこいんだって。人懐っこくて機嫌がいいと30分くらい一緒に泳げるんだって。

○はい、よし、じゃあウミガメいこうか。●●さん。

○ああ、はい。海洋センターという所があって、何だっけ、もう一回言って。

○ウミガメ教室、ありがとう。ウミガメ教室を開いているんだって。ウミガメがどのような生き物なのかを知ってもらう活動をしているんだって。●●さん。

○はい、卵から育ててる。●●さん。

○野生のイルカと泳げるのは日本で4つだけ。

○ハワイで。

○ドルフィンスイムに参加しても必ず会えるわけではなくて、もし会っても限られた人数しか実際に遊べないから、本番には必ず一緒に遊べる訳ではない。

○うん。

○小笠原で一緒に泳げるイルカはミナミハンドウイルカとハシナガイルカ。

○野生のイルカはは人懐っこい。機嫌がいいと30分くらい一緒に泳げる。

○小笠原海洋センターでは、ウミガメ教室を開いて、どのような生き物なのかを分かってもらう活動をしている。

○ウミガメ教室。

○小笠原海洋センターではウミガメを卵から飼育して育てている。はい、卵から育ててる。

○ウミガメのための活動なんですけど、足元だけを照らしてウミガメに当たらないようにしたり、ウミガメを発見した時は海洋センターに24時間いつでも連絡をしたりするようにしている。

○そうなんだ。足元だけをライトで照らしたり、見かけたら知らせるんだったりして。ウミガメについて他にある。●●さん。

○●●さん。

○この海洋センターで保護しているんだね。

○ウミガメ他にあります。いいかな。じゃあさあ、海の自然を生かしてこういったことができるんだね。自然を生かすだけでなく守るために、この間、●●さんがさ、何かルールがありそうだねって言ってたじゃない。

○どんなルールがあると思う？イルカと一緒に泳げます、それだけじゃなくて何かルールがありそうってことだね。

●●さんが言ってたんだけど、予想でいいからどんなルールが必要かな？ノートに書いてみようか。

○はい、じゃあ発表してください。どうですか。自分が考えたことを言ってみて。

●●さん。

○持って帰っちゃいけない。同じ人いるね。固有種って勉強したよね。なるほど。もし固有種を見つけても持って帰っちゃいけない。●●さん。

○海にゴミを捨ててはいけない。他のところよりも厳しくて言ったね。他の所以上に厳しくしているってこと。●●さん。

○なんでそう思ったの。

○知らずに餌をあげたら、それが生き物にとっては良くないものかもしれない。今、●●さん言ってたね。

○卵を産んだ母ガメに目印を付けたり、毎年産卵中に夜間パトロールをしている。卵を産んだ母ガメに目印を付けている。

○産まれた卵は全てオスカメスわかったら海洋センターで保護してヒナになるようにしている。

(ノートに記入)

○まだ書いてないんですけど小笠原の固有種を持って帰らない。

○●●さんが言ってたのに似ているんですけど他の所よりも厳しく海にゴミを捨ててはいけない。

○生き物に許可なく勝手に餌をあげてはいけない。

○許可をもらわないっていうことは何も聞いてないっていうことだから、何も聞いてないでその生き物に害がある食べ物をあげてしまっているかもしれないから。

○前、北海道に行ったときに聞いたんですけど、熊とかが人間が餌をあげたことによって町に侵入して、結局銃で撃たれたとかそ

○違う環境を与えちゃう。なるほど。他にどうですか。●●さん。

○やっぱ人に慣れちゃうってことかな。●●さん。

○わかった。餌から一回離れようか。他のルールある。●●さん。

○なんで遠く言っちゃダメなの。

○うん、わかった。小笠原の豊かな、最初見たような海の自然のことなので、小笠原の独自のルールがありそうだよ。●●さん。

○釣りね。釣りをやる場合にはこのくらいまでですよっていう決まりがあると。小笠原村の海の自然を守るためのルールっていうのはたくさんあってちょっと紹介しきれないのね。

○三つだけ紹介します。みんなよく考えて。まず一つ目ね。一つのイルカの群れと遊べるのは4つの船まで決まっている。  
(イラストを掲示する。)

○よく読んでたね。それからダイビングを楽しむのはいいんだけどサンゴ礁を壊さない。それから、さっきも言ってくれたんだけどウミガメを発見したら小笠原海洋センターへ連絡する。こういうルールがあるんです。ルールを決めて海の自然を守ってるんだって。

ういう話があったから、もしかしたら人間が餌をあげたら人間に懐いて人間の近くにいて危ないということがあったら殺されちゃうかもしれない。とにかく、人間が餌をあげると、違う環境を与えちゃうから。

○例えて、ハトは人間が餌をあげたら野生の本能が無くなって都会にも来ちゃった。

○例えば餌あげて、餌をあげていた人が病気とかお金がなくなって餌をあげられなくなると、自分で餌が取れなくなってしまい死んでしまうから。

○多分こんな人はいないと思うけど、なんかダイビングでめっちゃ遠くへ行かないことを知らせるんじゃないかと思います。

○帰れなくなって教えてくれる人も困っちゃう。

○小笠原だけにいる魚を何匹より多くは釣っちゃいけないルール。パンフレットに釣りとかが楽しめまして書いてあるから、釣り過ぎたらその魚がいなくなっちゃうので、そういうルールがある。

○書いてあった。

○じゃあさ、ルールを決めればさ、小笠原の海の自然で本当に守れるのかな。

○どうということ、●●さん言って。

○これよりも。

○他の人はどう思う。こうやってルールを決めてれば、小笠原の海は守れるのかな。

○ルールを守らない人って誰？

○ちなみにこのルールは小笠原村の海の観光業、観光っていうよね。こういうの観光だよ。観光の仕事をしている人たちが自分たちで決めたルールなの。それも世界自然遺産になる前からこういうルールを決めてたんだって。

○じゃあルールを決めました。自然は守れるかな。どう思う。●●さん。

○自然遺産になって観光客が増えたってやったよね。他の約束もありうる。じゃあ約束をいっぱい増やせばいいのかな。

。

○ルールがありすぎるとつまんなくなっちゃう。●●さんどう思う。

○短く、少なく、覚えやすくする。じゃあ、そこまでさ言うならさ、●●さん観光客って言ってたでしょ。観光客来なきゃいいじゃん。●●さんどう思う。

○成り立たなくなっちゃう。観光客が来た方がいいと●●さんは思うのね。皆さんは

○いや。ルール守れるのかな。

○さらに厳しいルールが必要。

○更にもっといろいろな厳しいルールがありそう。

○何かあるかもしれない。厳しいルールがありそう。

○守れる。

○ルールを守らない人がいそう。

○悪い人。

○世界自然遺産になる前からある約束だから、世界自然遺産になってから観光客も増えて、さっき言っていたようにプラスチックとかそういうのが海に入っちゃうかもしれないから他の約束もまだある。

○その時に厳しいと思ったから、つまんねってなる。

○例えば、水深が結構上だったら上までって決まってる、そこまでしかやれないってことで他のサンゴ礁とかを見たいのに見れないからつまらない。

○ルールがたくさんありすぎると覚え切れない。それでルールを忘れて一番重大なものだったらダメな方向に行ってしまうから、なるべくルールは短く少なく覚えやすくする。

○観光客が来なかったら、島の全体がお金がなくなって成り立たなくなってしまう。一応、漁業とか農業とかでお金とかあるけど、観光客が減ると島が成り立たない。

どう思う。別に正解はないよ。自分がどう思うか。今日はちょっと聞くだけにしとくね。じゃあ観光客はやっぱり来た方がいいと。来た方がいい？

○ああ、そうなの。

皆さんは今、総合でさ SDGs やってるよね。SDGs の 11 番。住みつづけられるまちづくり、それから 14 番、海の豊かさを守ろう。ほら、海を守ろう。SDGs の 14 番と一緒にだよね。ということで今日のまとめです。

○はい、ではノート。書き始めだけみんな一緒。「小笠原村では・・・」この続きは自分で書いてまとめましょう。自分で考えて書いてみて。●●さん発表してくれる？

○はい。ルールもあるけど楽しんでもらうためにダイビングなどをしているよ。いいね。

○いいね。観光客に楽しんでもらうために自然を生かしてるよ、でも生かしているだけじゃなくて守っているんだね。

○はい、では最後、振り返りカードに今日の日付を書いてください。

○もっと知りたいことでこういうこと書いたよって人いますか？●●さん。

○はい、いいですね。他にどうですか。●●さん。

○●●さん。

○どっちも大切なんじゃない。でもね SDGs のことがもっと知りたくなったのね。では今日はこれで終わりにします。

(ほとんどの児童が挙手をする)

○小笠原村ではルールもあるけど、観光客の人に楽しんでもらうためにウミガメ教室やドルフィンスイム、ダイビングなどを実施している。

○小笠原村では、豊かな自然の海を生かし、ダイビングやドルフィンスイムなどの取り組みを行ってはいるが、守るためには様々な決まりがある。

○ウミガメの資料をもっと見て、小笠原のウミガメについてもっと知りたい。

○●●さんと同じです。

○SDGs の 11 と 14 のどちらが本当に大切かをもっと知りたい。